



この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。

「お客さまの声」に潜むニーズを見つけ
満足いただける商品を提供したい

有限会社ヘルズ

本木 もとぎ 拓磨 たくま さん (高玉在住)



今回ご紹介するのは、介護用品を専門に取り扱っている有限会社ヘルズに勤める本木さんです。

本木さんは、大学を卒業した後、県内の製造業に就職しました。

しかし、福祉系の大学に通っていたこともあり、そのスキルを生かすため9年前に福祉関係の企業に再就職。さらに、町内に住む知人から勧められたことをきっかけに、5年前に現在の会社へ転職しました。「福祉の仕事を選んだ理由としては、自分の家族や親族がいずれ介護を必要とする時が来ることを考えた時に、この仕事をしていれば安心させてあげられると思ったからです。この仕事を通して、介護という仕事は、町の健康福祉課やケアマネジャーなど、さまざまな方との繋がりがあって成り立っていることもわかりました」と語る本木さん。日々の仕事の中で、そういった方々と連携を図りながら、一人一人のニーズに合ったサービスの提供を心がけているそうです。

「町内で福祉用具を専門に取り扱っているのは弊社だけです。た

どんな小さなお悩みも
気軽にご相談ください！



だ用具を納めるだけでなく、常に『お客さまの声』も聞くようにしています。商品を納めに行った際のちょっとした会話から、もっと良い商品を紹介できたりすることもあるんです。一人一人違う生活環境に合ったサービスを提供することは、決して簡単なことではないですが、ともに福祉業界を支えている仲間の皆さんとしっかり連携を図り、満足をしていただいた声を聞くことが大きな達成感につながります。これからも、地域の皆さんに喜んでいただける仕事をして、町の福祉サービスの魅力向上にお役に立てたら嬉しいです」と熱い思いを語ってくれました。